

資料3 同意書

様式第2号の1

同 意 書

私は、高齢者の転倒と骨粗鬆症に伴う骨折の調査研究

に関し、担当医師である中 十 保

より別紙内容のとおり説明を聞き、その旨を理解・納得しましたので、その  
臨床試験に同意します。

平成 年 月 日

医 学 部 長 殿  
病 院 長 殿

住 所 \_\_\_\_\_

氏 名 (本人) \_\_\_\_\_ 印

代理人氏名 (続柄) \_\_\_\_\_ 印

(必ずカルテに貼付の事)

## 転倒予防教室手順と計測項目

### 手順

#### 1.各診療科外来受診

- ・初診患者のなかで、65歳以上の女性をピックアップする。
- ・『転倒に関する調査』の説明書を渡し、参加の同意をとる。
- ・胸椎2R、腰椎2R（立位）のX-Pと骨塩定量のオーダーをする。（レントゲンはその日のうちに撮影する。）
- ・リハビリテーション外来診察の予約をとる。（骨塩定量検査の後で、月曜日の午前10時30分の転倒予防教室枠）
- ・リハビリテーション依頼書は不要。

#### 2.リハビリ外来受診（月曜日の午前10時30分）

- ・『転倒に関する調査』を承知していることを患者に確認する。
- ・運動指導があること、もしくはないことを説明する。
- ・同意書を渡し、署名してもらう。
- ・アンケート用紙を渡し、その日のうちに記載してもらう。
- ・当日検査する内容と前回の検査結果を説明する。
- ・下肢関節可動域と下肢周囲径を計測する。
- ・姿勢評価を行い、血圧、身長、体重、握力を測定する。
- ・次回の予約をとり（約半年後）、ノートの次回予約日のところにIDと名前を記載する。次回の予約日も運動指導がある日とない日にわけてあるので、混在しないように注意する。

#### 3.理学療法士チェック（主に骨粗鬆症運動教室の内容に準じる）

- ・バランステスト：重心動揺計、片足立ち、継ぎ足歩行
- ・姿勢と柔軟性テスト；FFD
- ・歩行分析：床反力計上を裸足で普段の速度で歩行し、床反力のみを記録する。3回計測する。
- ・Timed up to go test
- ・筋力テスト：握力、膝関節周囲筋、腹筋
- ・骨粗鬆症体操指導（ある場合とない場合あり）

## 運動機能テストの方法および基準

### 1. バランステスト

- ①重心動揺計にて30秒間の重心動揺を計測する。
- ②片脚立位（開眼）で何秒立てるかを記入する（120秒を上限、どちらの下肢でも可だが、支持した下肢の左右を記載し、次回も同側とすること）。
- ③TandemGait：2mを継ぎ足歩行を2回させ、2回目にできた場合はその秒数を記入。できなかった場合は終了。

### 2. 姿勢と柔軟性テスト

- ①姿勢の評価  
1：正常（N） 2：後弯（K） 3：前弯（L） 4：平背（F）
- ②柔軟性評価  
F F D：長座位でcmを記入

### 3. 歩行分析

床反力計上を裸足で、普段の速度で歩行し、床反力を記録する。  
この際、左右の床反力の踏み分けができていないかと、それぞれ2歩以上床反力計上を歩いているかを確認し、3回計測する（測定用のマニュアルあり）。

### 4. Timed up to go test

椅子での座位（背もたれに背をつけた状態）から立ち上がり、3m離れた地点をまわってもどり、元通りの座位になるまでの時間を計測する。

### 5. 筋力テスト

- ①握力：立位で測定しkgで記入する（左右とも）。
- ②膝周囲筋：MYORETを使用する。  
膝60度位でisometric、屈筋伸筋5秒間ずつ。
- ③腹筋：背臥位で膝関節を伸展し、足部を固定して上体を25度挙上し何秒保持できるかを記入する（90秒を上限）。

## 調査開始時アンケート

下線部を記入し、該当する□をチェックしてください。

(該当するものが複数ある場合は、すべてにチェックしてください)

ご氏名： \_\_\_\_\_ 年齢： \_\_\_\_歳 記入年月日：平成 \_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

- 1) 若い頃と比べて背が低くなりましたか？     いいえ   はい (約 \_\_\_\_cm低くなった)
- 2) 腰が曲がっていますか？                   いいえ   はい
- 3) 歩行の速度は？   普通で歩ける     ゆっくり歩く   ほとんど歩けない
- 4) 変わりそうになった横断歩道の信号に間に合うように走れますか？  
   走れる   走れない
- 5) 移動時に必要とするものは？  
     特にない   外出時のみ杖を使用する   常に杖を使用する   2本松葉杖  
     老人車 (押し車)   車いす   その他 \_\_\_\_\_   ほとんど歩けない
- 6) 外出の頻度は？  
     ほぼ毎日外出   週3～5回外出   週1～2回外出   自宅周辺に時々出る程度  
     ほとんど外出しない
- 7) 階段昇降は？     容易   手すりを使用してなんとか可   できない
- 8) 歩行や起立に影響すると思われる病気や状態があればチェックしてください。  
     片麻痺   片麻痺以外の脳卒中後遺症   パーキンソン病   視力障害   痴呆  
     起立性低血圧   糖尿病による下肢の神経障害   脊髄の障害   腰痛   股関節痛  
     膝痛   足部の痛み   他の病気： \_\_\_\_\_
- 9) 上記以外で現在患っている病気があれば□をチェックしてください。  
     高血圧   心臓病   気管支や肺の病気   肝臓病   腎臓病   胃腸病  
     その他 \_\_\_\_\_
- 10) 生理が始まった、及び終わったのは何歳ですか？ 始まり \_\_\_\_歳、終わり \_\_\_\_歳
- 11) 両側の卵巣を切除する手術を受けましたか？                   いいえ   はい ( \_\_\_\_歳の時)
- 12) 睡眠薬の使用は？     使用していない   時々使用する   よく使用する

裏の質問にもお答え下さい。

- 13) 他の精神に影響する薬（うつ病の薬など）を使用していますか？  
なし あり（病名は？ \_\_\_\_\_）
- 14) 使用している寝具は何ですか？ ベット 布団（畳の上）
- 15) 日頃座るのが多いのはどちらですか？ 椅子 畳もしくは床の上
- 16) アルコール類は？ ほとんど飲まない 嗜むが酩酊するほどは飲まない  
よく（週1回以上）酩酊するほど飲む
- 17) コーヒーは？ ほとんど飲まない 毎日1杯以上飲む
- 18) 日本茶は？ ほとんど飲まない 毎日2杯以上飲む
- 19) 牛乳は？ ほとんど飲まない 週2～4回飲む ほぼ毎日飲む
- 20) 牛乳以外の乳製品は？ ほとんど食べない 週2～4回食べる ほぼ毎日食べる
- 21) 最近2ヶ月間に何回くらいこぼしましたか？  
0回 1回 2～3回 4～5回 6回以上（およそ \_\_\_\_\_回）
- 22) これまでに交通事故などの大きな事故以外で骨折したことがありますか？  
いいえ はい→骨折した部位のをチェックしてください。

右	左
<input type="checkbox"/> 右肩	<input type="checkbox"/> 左肩
<input type="checkbox"/> 右手首	<input type="checkbox"/> 左手首
<input type="checkbox"/> 右股関節（股の付け根） 右股関節に人工物が入っていますか？ <input type="checkbox"/> 入っていない <input type="checkbox"/> 入っている <input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> 左股関節（股の付け根） 左股関節に人工物が入っていますか？ <input type="checkbox"/> 入っていない <input type="checkbox"/> 入っている <input type="checkbox"/> 不明
<input type="checkbox"/> その他の部位 _____	<input type="checkbox"/> その他の部位 _____

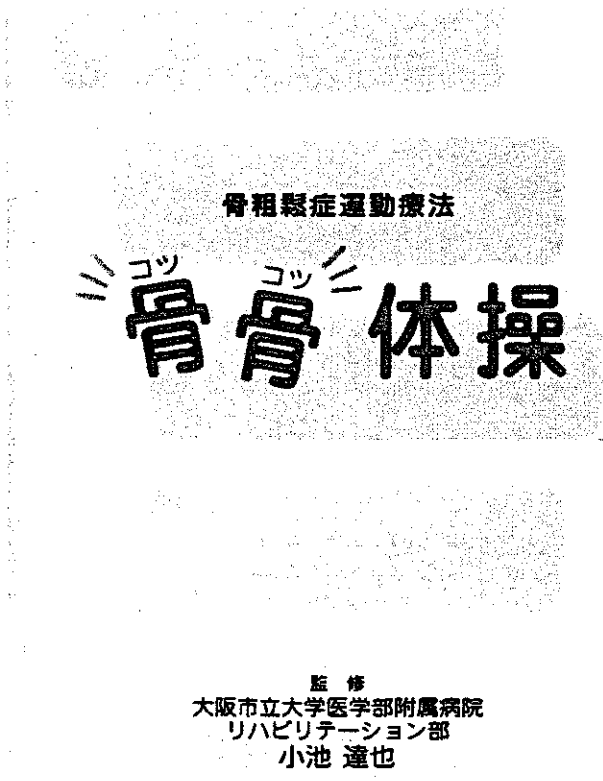
- 23) 現在、骨粗鬆症の薬を飲んでいますか？ いない いる→薬をチェックして下さい。

<input type="checkbox"/> ビタミンD <input type="checkbox"/> ビタミンK（グラケー） <input type="checkbox"/> 女性ホルモン剤 <input type="checkbox"/> ダイドロネル <input type="checkbox"/> ボナロンもしくはフォサマック <input type="checkbox"/> エルシトニンもしくはカルシトニン製剤 <input type="checkbox"/> オステン <input type="checkbox"/> その他 _____ <input type="checkbox"/> 不明
---

- 24) 上記以外で現在飲んでいる薬をすべて書いて下さい。
- \_\_\_\_\_

ご協力ありがとうございました。

資料7 運動療法解説用パンフレット



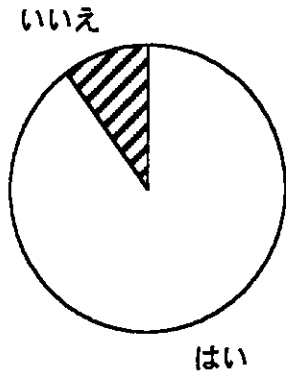
資料8 転倒の記録

**転倒の記録：** 転倒した場合、そのつどご記入ください。

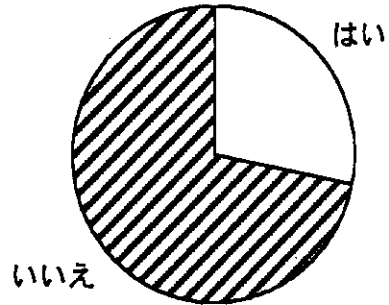
転倒した年月日：平成 年 月 日	
転倒場所は？ <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> 屋内	
<input type="checkbox"/> 自宅内の場合： <input type="checkbox"/> 居間 <input type="checkbox"/> 廊下 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 階段 <input type="checkbox"/> 玄関 <input type="checkbox"/> その他 _____	
<input type="checkbox"/> 施設内の場合： <input type="checkbox"/> 部屋 <input type="checkbox"/> 廊下 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 階段 <input type="checkbox"/> 玄関 <input type="checkbox"/> その他 _____	
転倒のきっかけは？ <input type="checkbox"/> すべった <input type="checkbox"/> つまづいた <input type="checkbox"/> ふらついた <input type="checkbox"/> 階段などを踏み外した <input type="checkbox"/> 踏み台などからの転落 <input type="checkbox"/> 椅子、ベッド、車椅子からの転落 <input type="checkbox"/> その他 _____	
受傷状況は？ <input type="checkbox"/> けがなし <input type="checkbox"/> 打撲のみ(部位 _____) <input type="checkbox"/> 骨折あり(部位 _____)	

資料9 アンケート結果

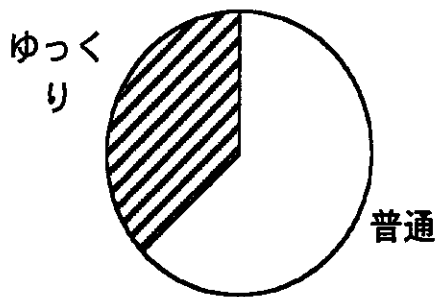
1)若い頃と比べて  
背が低くなりましたか？



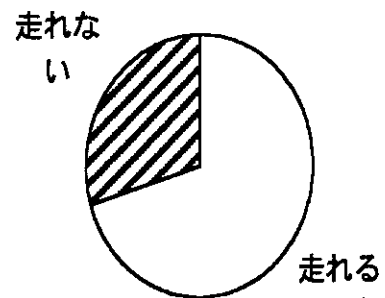
2)腰が曲がっていますか？



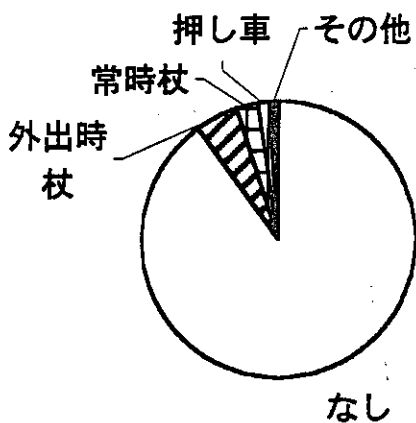
3)歩く速度は？



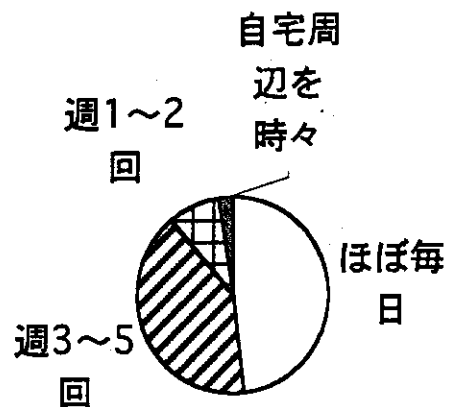
4)変わりそうになった信号に  
間に合うよう走れますか？



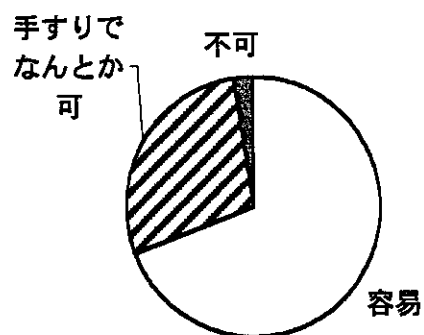
5)移動時に必要なものは？



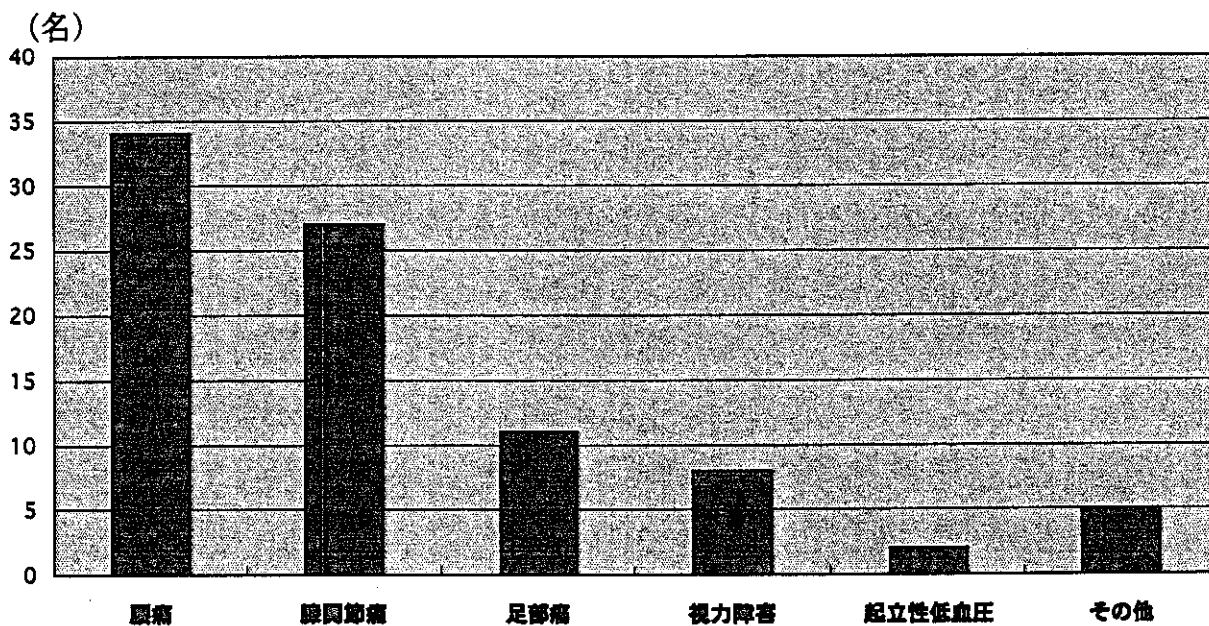
6)外出の頻度は？



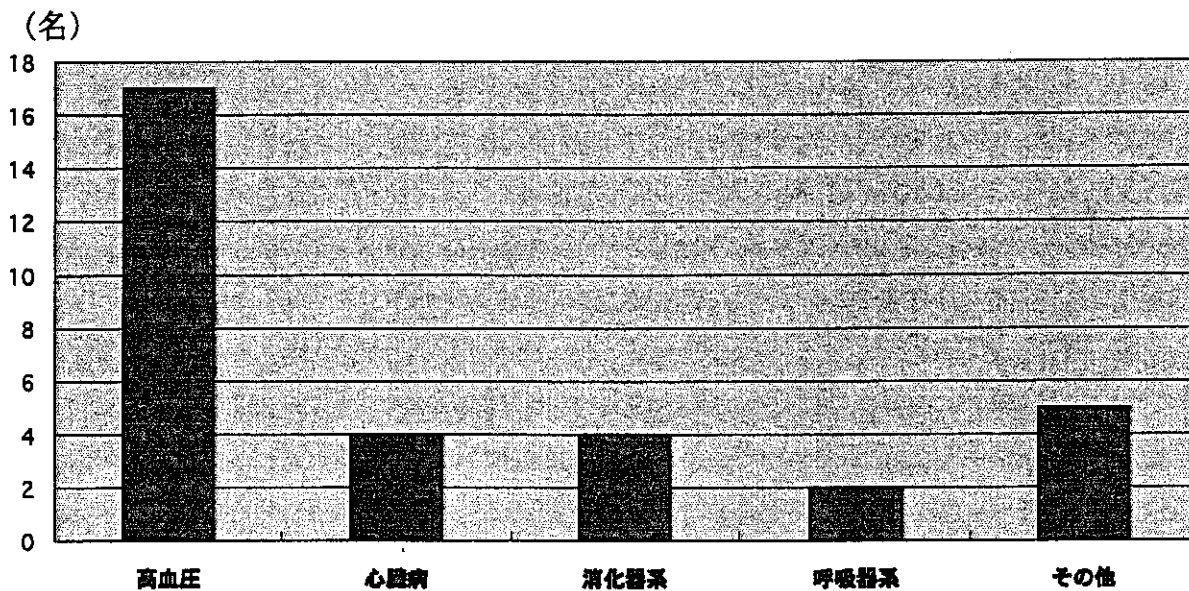
7)階段昇降は？



8)歩行に影響する病気はありますか？



9)その他に病気はありますか？





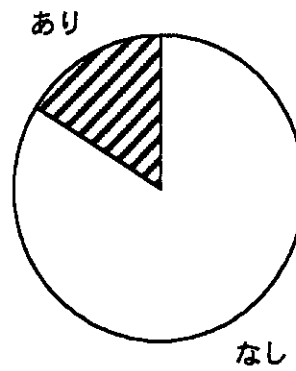
10)月経の開始、終了は何歳ですか？

開始 15.72±2.13歳

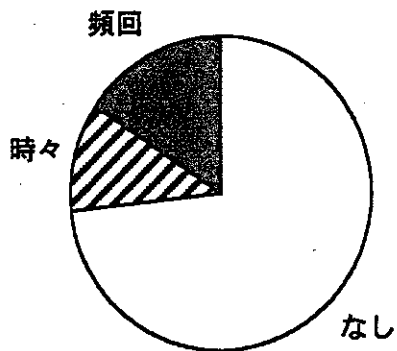
終了 49.48±4.35歳

11)両側の卵巣摘出手術を

うけましたか？

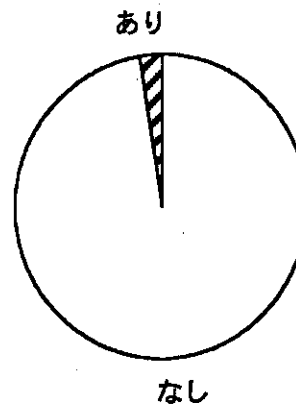


12)睡眠薬の使用は？

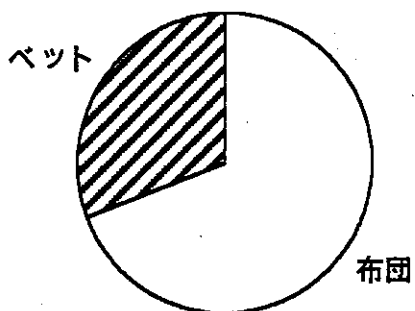


13)他に精神に影響する薬を

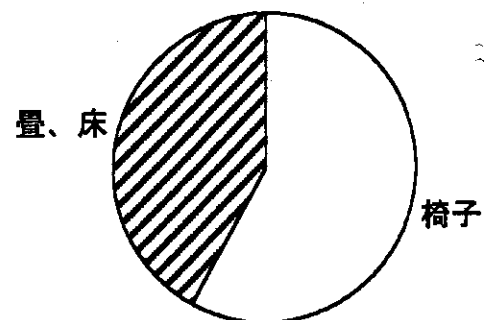
使用していますか？



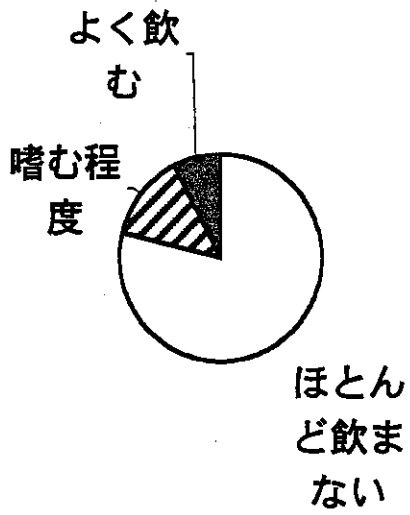
14)使用する寝具は？



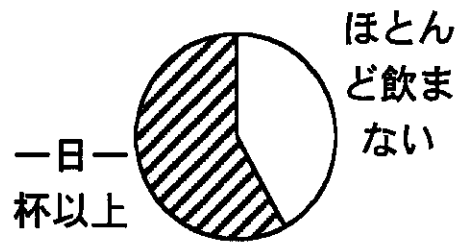
15)日頃座るのが多いのは？



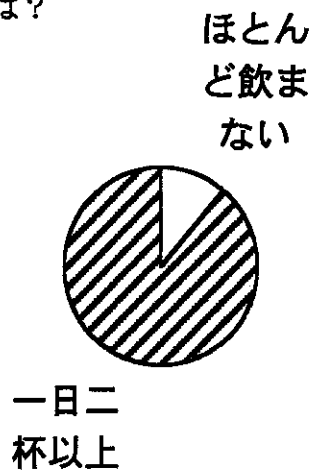
16) アルコール類は？



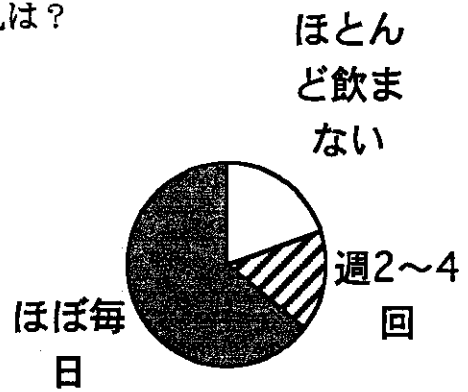
17) コーヒーは？



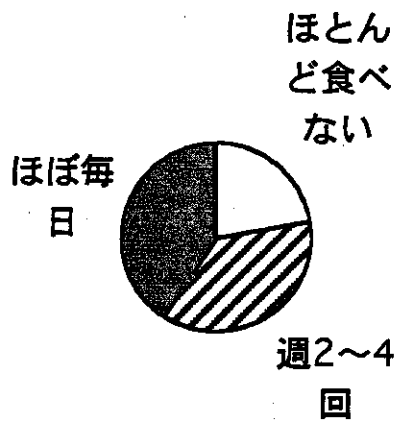
18) 日本茶は？



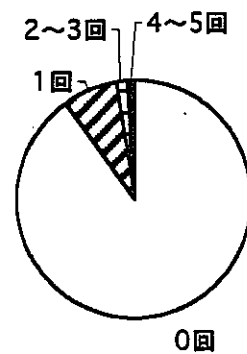
19) 牛乳は？



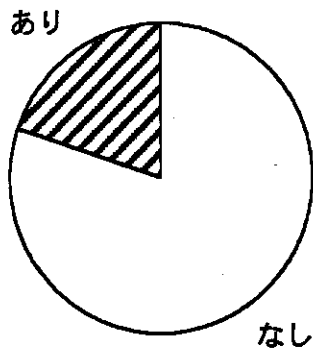
20) 牛乳以外の乳製品は？



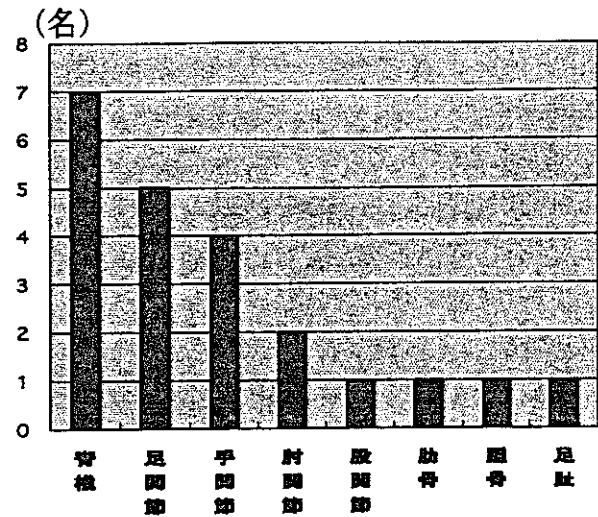
21) 最近二ヶ月間の転倒回数？



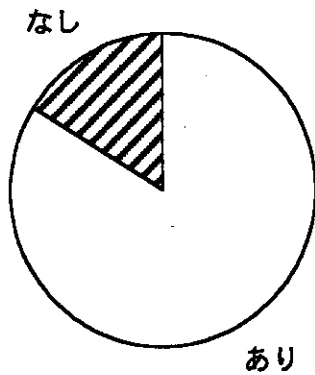
22) これまでに骨折の経験は？



23) 骨折の部位は？



24) 現在骨粗鬆症の薬を  
のんでいますか？



25) その薬は？

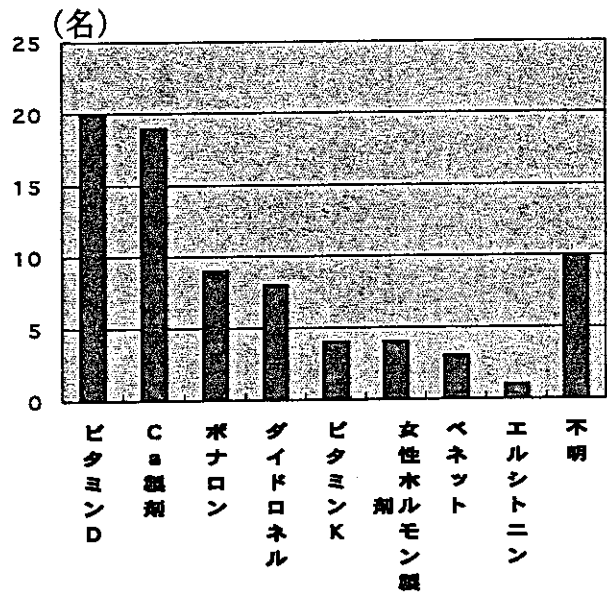


図1 胸腰椎単純X線における  
圧迫変形の有無と変形数

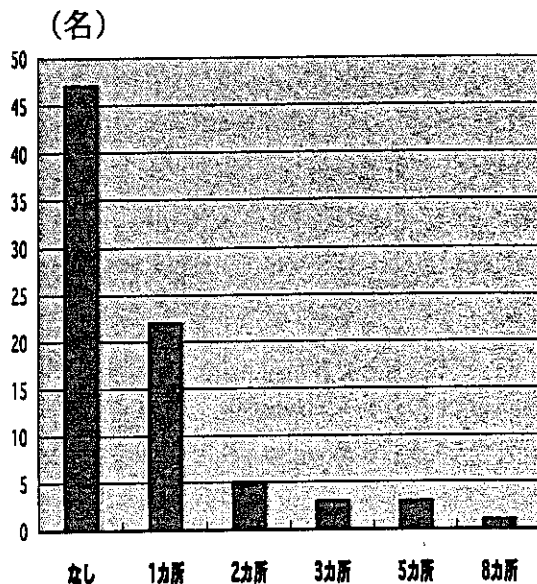
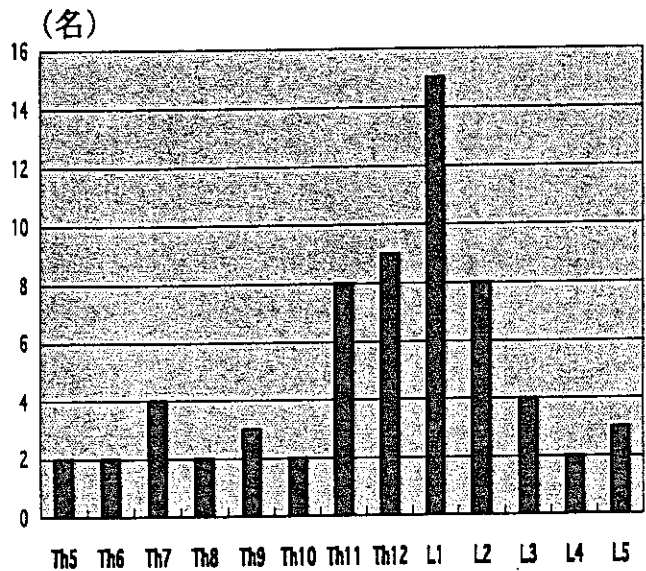


図2 胸腰椎単純X線における  
圧迫変形部位と人数



### III. 研究成果の刊行に 関する一覧表

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Hirabayashi,H., Ebara,S., Kinoshita,T., Yuzawa,Y., Nakamura, I., Takahashi, J., Kamimura, M., Otsuka,K. and <u>Takaoka, K.</u>	Clinical outcome and survival after palliative surgery for spinal metastasis.	Cancer	15	476- 484	2003
Wakitani,S., <u>Takaoka,K.</u> , Hattori,T., Miyazawa,N, Iwanaga,T., Takeda,S., Watanabe,T.K. and Tanigami,A	Embryonic stem cells injected into the mouse knee joint form teratoma and subsequently destroy the knee joint.	Rheumatology	42	162- 165	2003
Murakami N., Saito N., Takahashi, J., Ota, H., Horiuchi, H., Nawata, M., Okada, T., Nozaki, K. and <u>Takaoka, K</u>	Repair of a proximal femoral bone defect in dogs using a porous surfaced prosthesis in combination with recombinant BMP-2 and a synthetic polymer carrier.	Biomaterials	24	2153- 2159	2003
Takahashi, J., Saito, N., Ebara, S., Kinoshita, T., Ito, h., Okada, T., Nozaki, K. and <u>Takaoka,.K.</u>	Anterior thoracic spinal fusion in dogs by injection of recombinant human bone morphogenetic protein-2 and a synthetic polymer.	Journal of Spinal Disorders & Techniques	16	137- 143	2003
Minoda,Y., Kobayashi,A., Iwaki,H., Miyaguchi,M.,Kadoya,Y., Ohashi, H., Yamano,Y. and <u>Takaoka,K</u>	Polyethylene wear particles in synovial fluid after total knee arthroplasty.	Clinical orthopedics & Related Research	410	165- 172	2003
Nakamura,Y., Shimizu,T., Ishikawa,Y., Matsumoto,T., Sugimoto,M., Goto,M. Yoshimura,Y., Wakitani,S. and Takaoka,K.	Triple primary sarcoma in Werner syndrome with a novel mutation.	Rhematology	42	797- 800	2003

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Saito. N., Horiuchi, H., Ota, H., Takahashi, J., Murakami, N., Nawata, M., Kojima, S. Nozaki, K. and <u>Takaoka, K.</u>	Local bone formation by injection of recombinant human bone morphogenetic protein-2 contained in polymer carriers.	Bone	23	381-386	2003
Yamada,K.,Inui,K.,Iwamoto,M.,Nakamura,H.,Tsujiio,T.Konishi,S.,Ito,Y., <u>Takaoka,K.</u> and Koike,T	High serum level of menatetrenone in male patients with ossification of posterior longitudinal ligament.	Spine	28	1789-1793	2003
Murakami,G., Watanabe,T., <u>Takaoka,K.</u> , Miyazono,K. and Imamura,T.	Cooperative inhibition of bone morphogenetic protein signaling by smurf1 and inhibitory smads.	Molecular Biology of the Cell	14	2809-2817	2003
Nakamura,Y.,Wakitani,S., Nakayama,J., Wakabayashi,S., Horiuchi,H. and <u>Takaoka,K.</u>	Temporal and spatial expression of BMPreceptors and noggin suring BMP-2-induced ectopic bone formation.	J. Bone and Mineral Research	18	1854-1862	2003
Minoda,Y., Nakamura,H., Konishi, S., Nagayama,R.,Suzuki,E., Yamano,Y. and <u>Takaoka,K</u>	Palsy of the C5 nerve root after midsagittal-splitting laminoplasty of the cervical spine.	Spine	28	1123-1127	2003
大橋弘嗣, 松下直史, 小池達也, 高岡邦夫, 森田光明, 廣橋賢次	変形性股関節症に対する運動療法の中期的成績	Hip Joint	29	663-667	2003
田邊裕治, 田村隆, 大橋弘嗣, 政田俊明, <u>高岡邦夫</u>	骨セメントの曲げ強度に及ぼす抗生剤添加の影響	日本臨床バイオメカニクス学会誌	24	281-285	2003
笹岡隆一, 中村博亮, 小西定彦, 鈴木英介, 寺井秀富, 豊田宏光, <u>高岡邦夫</u>	腰椎椎間板ヘルニアに対するMicro Endoscopic Discectomyの成績と侵襲度評価	骨・関節・靭帯	16	1283-1288	2003
大川得太郎, 和田麻由子, 北輝夫, 佐藤哲也, <u>高岡邦夫</u> , 小池達也	高齢女性の骨塩量に対する体操療法の長期経過観察	Osteoporosis Japan	11	242-245	2003

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
上田優子, 米田昌弘, 青野勝成, 高岡邦夫	外傷を起点として異所性骨化を疑われた骨軟骨腫の1例	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	46	327-328	2003
洲鎌亮, 大橋弘嗣, 格谷義徳, 多田昌弘, 高岡邦夫	人工股関節置換術後MRSA/MRSE感染に対する治療成績	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	46	219-220	2003
青木薫, 清水富永, 五明広樹, 磯部研一, 小平博之, 高岡邦夫	深膝蓋窩滑液包に生じた関節外滑膜性骨軟骨腫症の1例	整形外科	54	177-179	2003
Ishida R, Emi M, Ezura Y, Iwasaki H, Yoshida H, Suzuki T, Hosoi T, Inoue S, Shiraki M, et al.	Association of a haplotype (196Phe/532Ser) in the interleukin-1-Receptor-associated kinase (IRAK1) gene with low radial bone mineral density in two independent populations.	J Bone Miner Res	18	419-423	2003
Shiraki M, Fukunaga M, Kushida K, Kishimoto H, Taketani Y, minaguchi H, Inoue T, Morita R, Morii H, Yamamoto K, Ohashi Y, Orimo H.	A double-blind dose-ranging study of risedronate in Japanese patients with osteoporosis ( a study by the risedronate late phase II research group).	Osteoporosis Int	14	225-234	2003
J-T Chen, Shiraki M.	Menopausal hot flush and calcitonin gene-related peptide; effect of Keishibukuryo-gan, a kampo medicine, related to plasma calcitonin gene-related peptide level	Maturitas	45	199-204	2003
Ishida R, Ezura Y, Emi M, Kajita M, Yoshida H, Suzuki T, Hosoi T, Inoue S, shiraki M, Ito H, Orimo H.	Association of a promotor haplotype (1542G/-525C) in the tumor necrosis factor receptor associated factor-interacting protein gene with low bone mineral density in Japanese women.	Bone	33	237-241	2003
Ezura Y, Nakajima T, Kajita M, Ishida R, Inoue S, Yoshida H, Suzuki T, Shiraki M, Hosoi T, Orimo H, Emi M.	Association of molecular variants, haplotypes, and linkage disequilibrium within the human vitamin d-binding protein (DBP) gene with post menopausal bone mineral density.	J Bone Mineral Res	18	1642-1649	2003
Fukunaga M, Nakamura T, Shiraki M, Kuroda T, Ohta H Hosoi T, Orimo H.	Absolute height reduction and percent height ratio of the vertebral body in incident fracture in Japanese women.	J Bone Miner Metab	22	104-110	2004

	発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
○	Fujiwara S, Kasagi F, Masunari N, Naito K, Suouki G, Fukunaga M	Fracture prediction from bone mineral density in Japanese men and women.	J Bone Min Res	18	1547-1553	2003
○	Hagino H, Fujiwara S, Nakashima E, Nanjyo Y, Teshima R.	Case-control study of risk factors for fractures of the distal radius and proximal humerus among the Japanese population.	Osteoporosis Int	15	226-230	2003
○	白木正孝	日常診療で出会う骨粗鬆症への対処法	Osteoporosis Japan	12		2004
○	白木正孝	男性骨粗鬆症の多様性	Osteoporosis Japan	12	66-69	2004
○	岡野上志夫、津川尚子、須原義智、田中清、石田弘美、上西一弘、久保田恵美、福永仁夫、細井孝之、白木正孝	高齢者を中心とする日本人女性のビタミンD栄養状態と骨代謝関連指標について	Osteoporosis Japan	12	76-79	2004
	藤原佐枝子	骨量測定・骨粗鬆症検診による骨折・骨粗鬆症予防のエビデンス	日本衛生学雑誌	58	338-346	2003
	藤原佐枝子、増成直美、鈴木元、福永仁夫	超音波骨量測定値による骨折予知	Osteoporosis Japan	12	73-76	2004
	藤原佐枝子	骨粗鬆症の診断	骨粗鬆症治療	2	54-59	2003
	藤原佐枝子	疫学（発生頻度など）的事項	The BONE	17	559-562	2003
	藤原佐枝子	骨折のrisk assessment.	Geriatric Medicine	41	1601-04	2003
	藤原佐枝子	骨粗鬆症の疫学と骨折リスク	Hormone Frontier in Gynecology	10	335-340	2003
	藤原佐枝子	骨粗鬆症の疫学 性差に注目して	Clinical Calcium	13	1385-90	2003
○	藤原佐枝子	危険因子の民族差	カレントセラピー	22	59-61	2004
○	藤原佐枝子	脊椎骨折の発生率	日本臨床	62	201-204	2004



○

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
藤原佐枝子	骨折リスクの予測因子	日本臨床	62	583-586	2004
Kobayashi S, Takahashi HE, Ito A, Saito N, Nawata M, Horiuchi H, Ohta H, Ito A, Iorio R, Yamamoto N, Takaoka K	Trabecular minimodeling in human iliac bone.	Bone	32	163-9	2003
Kobayashi S, Saito N, Nawata M, Horiuchi H, Iorio R, Takaoka K	Total hip arthroplasty with bulk femoral head autograft for acetabular reconstruction in developmental dysplasia of the hip.	J Bone Joint Surg (Am)	85	615-621	2003
小林千益、高岡邦夫	セメント固定人工股関節の臨床成績.	New Mook整形外科	13	232-238	2003
Ohta H, Kobayashi S, Saito N, Nawata M, Horiuchi H, Takaoka K	Sequential changes in periprosthetic bone mineral density following total hip arthroplasty: a 3-year follow-up.	J Bone Miner Metab	21	229-233	2003
太田浩史、小林千益、斎藤直人、縄田昌司、薄井勇紀	股関節疾患に合併した腸靭滑液包炎の3例.	中部整災誌	46	711-2	2003
小林千益、白木正孝、高岡邦夫	骨粗鬆症学(基礎・臨床研究の新しいパラダイム): 骨粗鬆症の治療法: 薬物療法: 併用療法: ビスホスフォネートと活性型ビタミンD3	日本臨床	62	461-5	2004
Nampei A., Hashimoto J., Hayashida K., Tsuboi H., Shi K., Miyashita H., Yamada T., Matsukawa N., Matsumoto M., Morimoto S., Ogihara T., Ochi T., Yoshikawa H.	Matrix extracellular phosphoglycoprotein (MEPE) is highly expressed in osteocytes in human bone	J Bone Min Metab	22	in press	2004
Nishikawa M., Tomita T., Fujii M., Watanabe T., Hashimoto J., Sugamoto K., Ochi T., Yoshikawa H.	Total ankle replacement in rheumatoid arthritis	Int Orthop	28	123-126	2003

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Toyosawa S., Tomita Y., Kishino M., Hashimoto J., Ueda T., Tsujimura T., Aozasa K., Ijuhin N., Komori T	Expression of dentin matrix protein 1 in tumors causing oncogenic osteomalacia.	Modern Pathology	5	in press	2004
岸本英彰、楊 鴻生、太田博明、五來逸雄、橋本 淳、中塚喜義、吉本祥生、牧田和也	CM-100によるQUSの基準値とcut-off値	Osteoporosis Japan	11	307-310	2003
橋本 淳、吉川秀樹	特集・抗加齢療法をめざすもの 骨粗鬆症	臨床と研究	80	1839-1842	2003
K. Yamada, K. Inui, M. Iwamoto, H. Nakamura, T. Tsujio, S. Konishi, Y. Ito, K. Takaoka, T. Koike	High serum levels of menatetrenone in male patients with ossification of the posterior longitudinal ligament	Spine	28	1789-1793	2003
小池達也	骨疾患からみた軟骨細胞の分子制御	骨粗鬆症治療	2	279-289	2003
Nakajima R, Inada H, Koike T, Yamano T.	Effects of leptin to cultured growth plate chondrocytes	Horm Res	60	91-98	2003
○ 大川得太郎、佐藤哲也、小池達也	高齢女性に対する運動療法の長期効果	日本臨床	62	510-514	2004
○ 大川得太郎、佐藤哲也、小池達也	運動による骨折予防	日本臨床	62	602-606	2004
○ 小池達也、高岡邦夫	活性型ビタミンD3とビタミンK2の併用療法	日本臨床	62	480-483	2004
○ 小池達也	骨粗鬆症に対する運動療法が骨代謝に及ぼす影響	日本臨床	62	501-504	2004
○ 小池達也	治療薬としてのPTH	Current Therapy	22	291-295	2004
○ 小池達也・高岡邦夫	大腿骨頸部骨折の予防ーヒッププロテクターの効用	Medicina	40	1732-1734	2003

20030495

以降は雑誌/図書等に掲載された論文となりますので、  
「研究成果の刊行に関する一覧表」をご参照ください。